

国民体育大会第37回四国ブロック

No.	A1
-----	----

競技日	平成 28 年 8 月 21 日	会場	高松市総合体育館
開始時間	9 時 00 分 開始	競技種別	少年男子
審判名	主審 小谷 将夫 副審 池田 隼人		

香川県	84	21 — 12 29 — 12 16 — 13 18 — 16	53	徳島県
-----	----	---	----	-----

チーム名 香川県							チーム名 徳島県						
No.	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	No.	選手名	得点	3P	2P	FT	反則
4	松本 雅樹	13	0	5	3	2	4	森本 泰雅	4	0	1	2	2
5	前山 英之	3	1	0	0	0	5	花本 悠暉	8	1	2	1	2
6	古谷 太一	18	2	5	2	2	6	濱口 貴哉	8	2	1	0	1
7	常清 哲也	3	1	0	0	0	7	板東 俊兵	12	2	3	0	2
8	中本 龍	9	1	2	2	2	8	下藤 尚輝	4	0	1	2	1
9	植原 州哉	0	0	0	0	2	9	小川 大輝	0	0	0	0	0
10	齊木 祥太郎	2	0	1	0	0	10	笠井 貴司					
11	高岡 圭汰郎	9	0	4	1	1	11	川真田 紘也	4	0	2	2	2
12	前田 虎城						12	平島 陽瑠	0	0	0	0	0
13	岩田 凌綺	12	4	0	0	0	13	井上 涼介	10	0	5	0	0
14	リンダー マイルス達也	0	0	0	0	2	14	赤葉 玲音	0	0	0	0	0
15	上田 隼輔	15	0	7	1	2	15	久米 雄也	3	1	0	2	2
監督	色摩 拓也						監督	泉 直哉					
コーチ	牧田 茂						コーチ	久原 大典					
		84	9	24	9	13			53	6	15	9	12

【戦評】

第1Q、両チームともハーフマンツーマンディフェンスで始まる。試合開始直後、香川④のジャンプシュートが決まる。香川は激しいディフェンスで相手のミスを誘い、流れをつかもうとする。徳島は④がドライブで積極的に攻め、ファールを誘い、フリースローを確実に決める。徳島⑤の3Pでリズムをつかもうとするが、香川の厳しいディフェンスを思うように攻めることができない。終了間際には香川⑨のドライブから、⑥の合わせが決まり、21-12香川リードで第1Q終了。

第2Q、徳島⑥の3Pが決まり、ゲームスタート。④の積極的な外角シュートや、⑪のオフェンスリバウンドを中心にオフェンスを展開する。香川は⑥の外角シュート、④のドライブが確実に決め、得点を重ねる。⑩がドライブからのバスケットカウント、フリースローも確実に沈め、一気に突き放す。50-24香川リードのまま前半終了

第3Q、徳島は厳しいマンツーマンディフェンスから、しっかりと得点に結びつける。外角シュートやドライブから着実に得点を重ね、流れをつかもうとする。香川は⑩が積極的に攻め、ドライブやリバウンドシュートで確実に得点につなげていく。⑬の3Pも決まり、流れを徳島に渡さない。66-37で第3Q終了。

第4Q、香川⑪のドライブ、⑭のリバウンド、⑦の3Pなど、開始から積極的に攻撃を仕掛ける。徳島は粘り強いディフェンスから、⑦のドライブで連続得点。⑮の3Pでオフェンスを展開する。⑪の力強いリバウンドで粘りをみせるが、終始落ち着いて相手のすきをつき、確実に得点を重ねた香川が84-53で勝利した。

No.	B1
-----	----

高知県	48	$\begin{pmatrix} 14 & - & 14 \\ 11 & - & 20 \\ 6 & - & 28 \\ 17 & - & 28 \end{pmatrix}$	90	愛媛県
-----	----	---	----	-----

【戦評】

第4Q、高知は組織的な動きで攻撃をするが、愛媛の運動量が上回り苦戦する。高知⑤の連続3Pなどで得点を重ねるが、点差を縮めることができない。一方愛媛は⑨、⑭などの活躍でさらにリードを広げ、48-90で愛媛が勝利した。

競技日	平成 28 年 8 月 21 日	会場	高松市総合体育館
開始時間	10 時 30 分 開始	競技種別	成年女子
審判名	主審 達川 友希 副審 藤原 紘子		

愛媛県	108	32 — 10 23 — 23 31 — 13 22 — 16	62	香川県
-----	-----	--	----	-----

愛媛県							香川県						
チーム名							チーム名						
No.	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	No.	選手名	得点	3P	2P	FT	反則
4	川端 実乃里	12	1	4	1	0	4	田中 亜美	6	0	3	0	2
5	濱田 真子	13	3	2	0	2	5	池田 千紘	3	1	0	0	0
6	田村 未来						6	松橋 彩華	6	2	0	0	1
7	品部 沙也加	5	1	1	0	0	7	小澤 美咲	8	0	3	2	1
8	堀内 聡美	2	0	1	0	3	8	中尾 佳穂理	12	0	2	8	0
9	大森 彩乃	7	0	3	1	0	9	平井 瑞希	0	0	0	0	3
10	近藤 由惟	10	2	2P	0	2	10	古本 紗若					
11	熊 美里	11	0	5	1	4	11	貞中 愛莉	10	0	5	0	1
12	細貝 野乃花	20	2	5	4	2	12	足立 明日翔	8	2	1	0	2
13	浅井 美憂	16	2	4	2	1	13	橋本 百花	4	0	1	2	2
14	吉川 裕子	2	0	1	0	1	14	須川 奈保子	1	0	0	1	0
15	精木 由衣	10	0	5	0	2	15	西本 紗季	4	0	2	0	1
監督	渡部 治						監督	川本 伸人					
コーチ	若宮 浩						コーチ	山下 朋代					
		108	11	31	9	17			62	5	17	13	13

【戦評】

第1Q、両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。序盤、愛媛は⑬のドライブイン、⑤の3P、⑨のミドルシュートで7-0と好スタートを切る。その後、香川も⑦のフリースロー、⑥の連続3P等で中盤に逆転に成功する。両チーム速い展開でプレーが続く中、愛媛がインサイドにボールを集めてから⑬の外角シュート、④のドライブインで再び16-10と逆転に成功し、25-10となった残り2分で香川がタイムアウト。タイムアウト後、香川も積極的にシュートを狙いに行くが、愛媛の激しいディフェンスで得点できず、32-10と愛媛リードで第1Q終了。

第2Q、開始早々愛媛は④の3Pでスタートし、センター⑮を基点としたプレーで確実に加点していく。香川も残り5分でシューターとしたメンバー交代をし、⑫の3P、⑪のミドル、⑧の連続フリースローが決まるが点差を縮めることができず、55-33愛媛リードのまま前半終了。

第3Q、愛媛は前半原確率の高い⑪、⑬のアウトサイドシュートを中心に得点差を広げていく。更にスリークォーターからのオールコートマンツーマンで香川にプレッシャーをかけていく。一方香川も得意の外角シュートで点差を縮めていきたいが、確率が上がりず苦戦。終盤愛媛は連続して3Pを決め、86-46愛媛リードで第3Q終了。

第4Q、愛媛はリバウンドからの速い攻撃でバスケットを展開していく。香川も最後まで積極的にゴールを狙いに行き、④のドライブイン、⑤が3Pを決めるが、結局第1Qからの流れを維持した愛媛が108-62で勝利した。

記載者 升形

一般社団法人香川県バスケットボール協会

競技日	平成 28 年 8 月 21 日	会場	高松市総合体育館
開始時間	10 時 30 分 開始	競技種別	成年女子
審判名	主審 池松 和久 副審 高橋 瑞紀		

徳島県	69	13 — 7 22 — 8 17 — 19 17 — 16	50	高知県
-----	----	---	----	-----

チーム名 徳島県							チーム名 高知県						
No.	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	No.	選手名	得点	3P	2P	FT	反則
4	阿部 祥子	0	0	0	0	4	4	林 千香	6	2	0	0	3
5	近藤 美良	9	1	3	0	0	5	森本 美彩					
6	森 彩香	0	0	0	0	0	6	溝渕 咲彩	0	0	0	0	1
7	多田 由樹						7	海東 あい	0	0	0	0	0
8	中尾 真理	2	0	0	2	1	8	片岡 杏華	0	0	0	0	0
9	小原 彩	10	0	5	0	0	9	島内 千紘	2	0	1	0	3
10	多田 真紀	7	2	0	1	0	10	西川 絵美	3	0	1	1	2
11	新田 桃子	23	3	7	0	1	11	中岡 あきは	0	0	0	0	1
12	古海 朝日	2	0	1	0	1	12	門田 唯	2	0	1	0	0
13	山岡 五月	0	0	0	0	1	13	中川 はづき	10	0	3	4	3
14	近藤 紗奈	14	0	4	6	3	14	足達 遥咲	25	1	11	0	5
15	久次米 渚	2	0	1	0	0	15	公文 梨紗子	3	0	1	1	1
監督	藤浦 圭吾						監督	沼 紀年					
コーチ	太平 雅一						コーチ	藤村 桂子					
		69	6	21	9	11			51	3	18	6	19

【戦評】

第1Q、両チームとも立ち上がりが堅く、開始2分間得点なし。両チームともマンツーマンディフェンス。徳島は⑪のドライブプレーでオフェンスを展開する。対して高知は⑩、⑭を中心に得点するも徳島にリードを許し、13－7で第1Q終了。

第2Q、徳島⑭がリバウンドで奮闘。また、オフェンスでもセンタープレーが決まり始める。高知はシュートが入らなくなり、21－19となったところでタイムアウトを請求。その後、高知も⑬、⑭を中心に得点するが点差は縮まらない。第2Qのみで22－8と徳島が点差を広げた。35－15で前半終了。

第3Q、開始直後、高知は⑬がドライブでファールをもらい、フリースロー2本を確実に決め、勢いづく。対して徳島は⑪が3Pを2本決める。しかし、中盤高知の前からプレッシャーをかけるディフェンスが功を奏し、⑬、⑭を中心にスチールし、得点を重ねる。徳島はたまたま開始8分でタイムアウトで流れを切る。52－34で第3Q終了。

第4Q、序盤は両チームとも得点が決まらず、開始4分間膠着状態が続く。その後徳島は⑪、⑭を中心に得点する。一方高知も⑬、⑭を中心に反撃する。また、高知④が3Pを2本決めるも点差を縮めるには至らず、長身を生かした徳島が69－50で勝利した。

No.	A3
-----	----

高知県	49	$\begin{pmatrix} 12 & - & 9 \\ 9 & - & 32 \\ 12 & - & 27 \\ 16 & - & 25 \end{pmatrix}$	93	徳島県
-----	----	--	----	-----

【戦評】

第4Q、途中高知はオールコートマンツーマンディフェンスでペースを変えようとするが、徳島⑬の速攻、⑥のインサイドプレイなどで得点を重ね、49-93で徳島が勝利した。

国民体育大会第37回四国ブロック

No. B3

競技日	平成 28 年 8 月 21 日	会場	高松市総合体育館
開始時間	12 時 00 分 開始	競技種別	少年女子
審判名	主審 阿部 知裕 副審 谷 隆正		

愛媛県	80	15 — 11 29 — 16 28 — 8 8 — 9	44	香川県
-----	----	--	----	-----

愛媛県							香川県						
チーム名							チーム名						
No.	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	No.	選手名	得点	3P	2P	FT	反則
4	岩佐 彩花	14	2	4	0	1	4	高田 咲希	0	0	0	0	0
5	渡部 真衣	8	2	1	0	2	5	辻 双葉	3	0	0	3	2
6	黒山 佳奈	9	1	2	2	3	6	有木 沙織	9	1	3	0	1
7	安藤 母佳						7	濱田 侑里	2	0	1	0	1
8	石原 柚香	13	1	4	2	1	8	平野 史好	3	1	0	0	1
9	西山 奈那	5	1	1	0	0	9	松本 眞和	4	0	2	0	4
10	小谷 果蓮	15	0	7	1	2	10	森 智香子	8	0	4	0	0
11	梅木 千夏	14	1	5	1	2	11	菊池 優希	0	0	0	0	0
12	森下 遥奈	0	0	0	0	0	12	山口 穂乃佳	5	0	2	1	0
13	谷岡 安純	0	0	0	0	1	13	植松 涼	3	1	0	0	0
14	鈴置 彩夏						14	金澤 英果	2	0	1	0	0
15	富永 紗代	2	0	1	0	1	15	平安座 弓愛	5	1	1	0	0
監督	後藤 良太						監督	山下 浩二					
コーチ	田村 佳代						コーチ	大西 亜紀					
		80	8	25	6	13			44	4	14	4	9

【戦評】

大会2日目、第3試合。国体出場を決めた愛媛と、残念ながら出場を逃した香川の対戦となった。

第1Q、ゲームはお互いマンツーマンディフェンスで始まる。開始早々、香川の⑨、⑩のインサイドでのツーメンゲームと、⑥の3Pで5-2とリード。対する愛媛は⑤、⑥の一対一を基本に得点を重ね、15-11愛媛リードで第1Q終了。

第2Q、リバウンドからの速攻とパッシングゲームなど、速い展開で攻撃を仕掛ける愛媛。香川のディフェンスが対応できず、開始3分で25-15と10点のリードで、香川たまらずタイムアウトを請求。香川⑫、⑬、⑮の思い切りの良い外角シュートで流れを変えようとするも、愛媛オフェンスに上手く対応できず、44-27愛媛リードで前半終了。

第3Q、愛媛の個人技術に対して、香川は何とかチームディフェンスで対抗しようとする。しかし、愛媛は⑤、⑥の外角シュートで着実に得点を重ねていく。香川はくらくとこうとするが、リードが広がる形で、72-35愛媛リードのまま第3Q終了。

第4Q、香川は⑭、⑮のインサイドでの攻守にわたる頑張りで点差を縮めようとするが、なかなか得点に結びつかない。最後は地力に勝る愛媛が80-44で勝利した。

国民体育大会第37回四国ブロック

No. A4

競技日	平成 28 年 8 月 21 日	会場	高松市総合体育館
開始時間	13 時 30 分 開始	競技種別	少年男子
審判名	主審 柏原 琢磨 副審 西 和馬		

愛媛県	71	19 — 18 11 — 15 20 — 17 21 — 10	60	香川県
-----	----	--	----	-----

愛媛県							香川県						
チーム名							チーム名						
No.	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	No.	選手名	得点	3P	2P	FT	反則
4	権藤 史也	0	0	0	0	1	4	松本 雅樹	4	0	2	0	2
5	東浦 元樹	14	0	5	4	2	5	前山 英之	12	4	0	0	3
6	早瀬 陽介	2	0	1	0	1	6	古谷 太一	11	1	4	0	3
7	宮本 尋	19	3	5	0	2	7	常清 哲也					
8	萩野 一洋						8	中本 龍	2	0	1	0	4
9	村上 勇斗	19	5	2	0	0	9	植原 州哉	0	0	0	0	0
10	原本 樹	0	0	0	0	0	10	齊木 祥太郎	1	0	0	1	0
11	平 将輝	9	0	3	3	4	11	高岡 圭汰郎	0	0	0	0	0
12	松本 直之						12	前田 虎城					
13	曾我部 悠						13	岩田 凌綺	11	3	1	0	0
14	中村 響	0	0	0	0	0	14	リンダー マイルス達也					
15	GOMAA MOHAMEDO	8	0	3	2	3	15	上田 隼輔	19	0	6	7	3
監督	玉井 剛						監督	色摩 拓也					
コーチ	中原 正善						コーチ	牧田 茂					
		71	8	19	9	13			60	8	14	8	15

【戦評】

少年男子2勝同士の対決となった愛媛対香川の試合。

第1Q、香川はマンツーマンディフェンス、愛媛はゾーンディフェンスでゲームがスタートする。愛媛⑦のシュートで先制。すると、すぐさま香川は⑥のスチールからの得点をし、その後は愛媛は⑪のゴール下のプレー、⑨の3P等で加点。一方香川⑥、⑮等が得点を重ね、一進一退の時間が続く。19-18で第1Q終了。

第2Q、香川はゾーンディフェンス、愛媛はマンツーマンディフェンスでスタート。開始早々、香川は⑥の3Pで逆転するが、その後愛媛は⑦の外角シュートでの連続得点、香川は⑥のインサイドシュートで一進一退が続く。中盤すぎに愛媛は途中交代で入った⑮のインサイドプレーで3点差に広げるが、香川も交代で入った⑬の連続3Pで逆転に成功。更に④のドライブで3点リードする。30-33で前半終了。

第3Q、愛媛⑤のミドルシュートでスタートするが、香川は⑮のゴール下、⑤の3Pが決まり、6点差に広げる。しかし、中盤に入ると愛媛は⑨の3P、⑮のゴール下、⑤のスチールからの得点で再び2点差の逆転となる。終盤、香川は⑬の連続得点で逆転するが、愛媛は終了近くに⑦のドライブインから⑮のあわせで加点し、50-50の同点で終了。

第4Q、序盤香川⑮のインサイド、リバウンドシュートで気をはくプレイが目立つ。一方、愛媛は中盤から⑦のミドルシュート、⑥の3Pが決まり3点リードする。追いつきたい香川だが、残り6分すぎから4分すぎにパスミス、スチールが続く、7点差となる。その後香川は⑤の連続3Pが決まり3点差まで縮める。しかし、終盤愛媛は香川のミスを誘い、⑤のドライブ、⑨の3P等で加点し、結局71-60で愛媛が勝利した。

記載者 升形

一般社団法人香川県バスケットボール協会

No.	A5
-----	----

高知県	49	$\begin{pmatrix} 17 & - & 19 \\ 16 & - & 23 \\ 6 & - & 31 \\ 10 & - & 22 \end{pmatrix}$	95	愛媛県
-----	----	---	----	-----

【戦評】

第4Q、愛媛⑮がリバウンドを制し、確実に得点を重ねる。高知も④、⑨がインサイドを狙うが、長身プレイヤーが多い愛媛のディフェンスを破れない。愛媛はその後⑮に変わった⑭がセンタープレーを展開し、得点を重ねる。高さのある愛媛のディフェンスを攻められない高知は点差を広げられ、49-95と愛媛が勝利した。

